

4. 火災の実態

1 火災の概要

令和4年中の火災は、出火件数1,830件、損害額3,272,963千円、死者数63人、建物焼損床面積38,186㎡、建物焼損表面積5,020㎡、林野焼損面積1,611a、焼損棟数1,399棟、り災世帯数890世帯、り災人員1,923人となった。前年と比較した火災の状況は次のとおりである。

なお、令和4年中の火災の発生を一日当たりで見ると、出火件数約5.0件、損害額約8,967千円、死者数約0.2人、建物焼損床面積約104.6㎡、建物焼損表面積約13.8㎡、林野焼損面積約4.4a、焼損棟数約3.8棟、り災世帯数約2.4世帯、り災人員約5.3人である。

区 分	令和4年 ①	令和3年 ②	対前年増減数 ③ = ① - ②	増減率 $\frac{③}{②} \times 100$ (%)
出火件数	1,830	1,729	101	5.8
建物火災	937	902	35	3.9
林野火災	59	80	-21	-26.3
車両火災	138	148	-10	-6.8
船舶火災	2	2	—	—
航空機火災	0	0	—	—
その他火災	694	597	97	16.2
焼損棟数	1,399	1,340	59	4.4
り災世帯数	890	849	41	4.8
り災人員(人)	1,923	1,827	96	5.3
焼損面積				
建物床面積(㎡)	38,186	35,366	2,820	8.0
建物表面積(㎡)	5,020	5,366	-346	-6.4
林野(a)	1,611	826	785	95.0
損害額(千円)	3,272,963	2,930,001	342,962	11.7
建物火災	3,048,357	2,701,470	346,887	12.8
林野火災	308	1,123	-815	-72.6
車両火災	107,134	124,254	-17,120	-13.8
船舶火災	1,635	172	1,463	850.6
航空機火災	0	0	—	—
その他火災	114,750	102,857	11,893	-11.6
爆発	779	125	654	523.2
死者(人)	63	74	-11	-14.9
負傷者(人)	292	259	33	12.7

(注) ア 建物火災とは、建物又はその収容物が焼損した火災をいう。

イ 林野火災とは、森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。

ウ 車両火災とは、原動機によって運行することができる車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。

エ 船舶火災とは、船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。

オ 航空機火災とは、航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。

カ その他の火災とは、アからオまでに掲げる火災以外の火災をいう。

キ 爆発とは、人の意図に反して発生し又は拡大した爆発現象をいう。

2 出火件数

(1) 総出火件数は、1, 830件で前年と比べて101件増加している。これを火災種別でみると、次のとおりである。

種別 年	総出火件数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
令和4年	1,830件 (100.0%)	937件 (51.2%)	59件 (3.2%)	138件 (7.6%)	2件 (0.1%)	0件 (0.0%)	694件 (37.9%)
令和3年	1,729件 (100.0%)	902件 (52.2%)	80件 (4.6%)	148件 (8.6%)	2件 (0.1%)	0件 (0.0%)	597件 (34.5%)

(2) 月別出火件数

月別出火件数は、次のとおりである。火災は、12月から2月にかけて多く発生する傾向がある。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出火件数	261	251	227	97	118	107	128	138	125	119	95	164	1,830

(3) 出火率

出火率（人口1万人当たりの出火件数）は、県平均 約2.91件となっている。

3 損害額

火災による損害額は3, 272, 963千円で、前年比342, 962千円（11.7%）増加した。また、1日当たりでは 約8, 967千円（前年 約8, 027千円）、1件当たりでは 約1, 789千円（前年 約1, 695千円）となっている。

4 出火原因

出火原因別火災発生件数は、次のとおりである。

総出火件数	放火・放火の疑い	たき火	たばこ	こんろ	火入れ	その他
1,830件 (100.0%)	219件 (11.9%)	197件 (10.8%)	166件 (9.1%)	108件 (5.9%)	98件 (5.4%)	1042件 (56.9)

※その他には、上記以外の出火原因21区分及び不明・調査中を含む

5 死傷者の実態

(1) 死傷者数

火災による死者は63人、負傷者は292人で、前年に比べて死者は11人減少（前年比14.9%）

9%減)し、負傷者は33人増加(前年比12.7%増)した。

(2) 火災種別にみる死傷者数

火災種別ごとの死傷者発生状況は、次のとおりである。

火災種別	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
死者数	53 (84.1%)	0 (0.0%)	4 (6.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (9.5%)	63 (100.0%)
負傷者数	248 (84.9%)	4 (1.4%)	6 (2.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	34 (11.6%)	292 (100.0%)

(3) 月別の死傷者数

月別死傷者数は、次のとおりである。死傷者は、12月から3月にかけて多く発生する傾向がある。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
死者数	13	7	5	6	6	2	2	3	3	2	3	11	63
負傷者数	40	40	37	13	14	14	17	29	20	14	21	33	292

(4) 年齢層別の死者数

年齢層別死者数は次のとおりであり、61歳以上が全体の約7割を占めている。

区分	0歳～ 20歳	21歳～ 30歳	31歳～ 40歳	41歳～ 50歳	51歳～ 60歳	61歳～ 70歳	71歳 以上	不明	合計
死者数	0 0.0%	0 0.0%	2 3.2%	4 6.3%	8 12.7%	12 19.1%	33 52.4%	4 6.3%	63 100.0%

(5) 死因別死者数

死因別死者数は次のとおりであり、死者は、火傷で多く死亡している。

区分	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲・骨折等	自殺	その他・不明	合計
死者数	16 25.4%	17 27.0%	0 0.0%	7 11.1%	23 36.5%	63 100.0%